

日本建築学会関東支部第 18 回提案競技  
「美しくまちをつくる、むらをつくる」

## 歴史と現在を紡ぎ本庄の未来を拓く

**主催：** 日本建築学会関東支部

**共催：** 本庄市、本庄市教育委員会

**後援：** 埼玉建築士会、埼玉県建築士事務所協会、日本建築家協会関東甲信越支部、埼玉県設備設計事務所協会

**趣旨：** 実在の市街地を対象に、今後の「まち」をテーマに、建築・都市の専門家、地元暮らし子どもから内外の大人までが参加する提案競技、コンクールです。たてものやまちのことをみんなで考え、未来を創造する機会とします。以下の 3 部門において提案や作品を幅広く募集します。

今回は、旧中山道最大の宿場町だった埼玉県本庄市の中心市街地を対象地として、日本建築学会関東支部と本庄市が協力し、公開審査会（『建築・まちづくり提案の部』のみ）、表彰式典、作品展示会等を開催する予定です。

- ① 建築を学ぶ学生、実務者、建築に関わる市民を対象にした「建築・まちづくり提案の部」
- ② 子どもから大人までを対象にした「写真コンクールの部」
- ③ 地元小中学生を対象にした「絵画コンクールの部」

### ① 建築・まちづくり提案の部

#### 課題

中山道本庄宿の再生

本庄市は、東京から約 80km、埼玉県の北西部に位置する人口約 8 万人の町です。平坦な地形と豊かな水を利用し、古代から大規模な集落があったことが遺跡からも確認できます。奈良時代には荘園経営が大規模に行われていました。江戸時代になると中山道の整備とともに「本庄宿」が成立し、江戸中期には中山道最大の宿場町にまで成長しています。明治に入ってから、官営富岡製糸場と連携し、繭市場や製紙工場が建てられ、繭と生糸の集積地として大いに繁栄しました。このころ建設された煉瓦倉庫や木造の洋風建築が、市内のあちこちに残っています。また、児玉地域にある競進社模範蚕室は、換気のための高窓を持つ特徴的な外観を有しており、これらの技術革新により繭の生産量を飛躍的に向上させたといわれています。

本庄市には現在、JR 高崎線、八高線に加えて平成 16 年に開業した本庄早稲田駅を有する上越新幹線が通り、加えて関越自動車道や国道 17 号、254 号などの幹線道路が、関東の東西軸、そして上信越や北陸方面とも結ぶ交通の要衝を形成しています。

しかし、自動車による生活圏の拡大や人口減少、若年層の流出、高齢化の進行と共に、徐々に求心力が失われ、地域の暮らしや生業、伝統などを支える力が低下しつつあります。また、本庄早

稲田駅の開業もあり、比較的土地利用規制の緩やかな周辺部では市街地が広がり人口も増える傾向にあります。本庄市の都市マスタープランでも、このような傾向に対して、既成市街地の質・魅力・求心力や公共・福祉サービスが低下し、都市施設の安定的な維持も困難になると懸念されています。

そこで建築・まちづくり提案の部では、現在の本庄の状況と、中山道最大の宿場町であったという歴史、またそれをつなぐ近代産業遺構等の活用を手がかりに、本庄市の中心市街地の未来を拓く提案を募集します。

#### 対象地

旧中山道を中心とする、本庄市中心市街とを対象とします。富岡製糸場に代表される近代産業遺構等を含め、北関東（埼玉、群馬、栃木）のものづくり産業と広域的に連携させるような計画でも構いません。詳細は提供資料を参考にしてください。

#### 要求図面など

『提案図面』（A3 サイズ、2 枚）及び『提案概要書』（A4 用紙、1 枚）

- 1) 着目した現状や計画条件を図や写真等を用いて、わかりやすく説明してください。
- 2) 提案内容を、設計趣旨、図版（ダイアグラム、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等）を自由に組み合わせ、表現してください（縮尺明記のこと）。必須図面はあり

ません。ただし、模型、ビデオ等は受け付けません。なお、設計趣旨の概要を 600 字以内の文章にまとめ、10 ポイント以上の文字で図面に記入してください。

- 3) 『提案図面』は A3 サイズ、2 枚 (297×420 mm、サイズ厳守、変形不可、2 枚つなぎあわせることは不可) 以内。
- 4) 『提案概要書』は A4 サイズ 1 枚 (縦使い、文字は 10 ポイント以上) に図版数点 (任意) と提案趣旨をレイアウトしたもの。

### その他注意事項

- 1) 『提案図面』および『提案概要書』には、応募者の氏名・所属等がわかるようなものを記入しないでください。
- 2) 他の設計競技等と二重応募になる作品、あるいは既に発表された作品は応募できません。
- 3) 応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることは必須です。

### 応募資格

建築を学ぶ学生、実務者、建築に関わる市民など。ただし、第一次審査を通過し第二次審査へ進出するものは日本建築学会の個人会員 (正会員および準会員) とします。(11 月 15 日 (火) までに所定の入会手続きを完了していない応募者は第二次審査へ進出できません。なお、入会資格は建築に関する学識・経験のある個人となっています。詳しくは [日本建築学会ホームページ](#) をご確認ください。) 共同制作者も同様です。

### 提供資料

本庄市の都市計画などに関する資料は、[日本建築学会関東支部ホームページ](#) に掲載します。共催者への直接の資料請求は受け付けませんのでご注意ください。

### 作品提出

- 1) 提案図面 (A3 サイズ・2 枚)
- 2) 提案概要書 (A4 サイズ・1 枚)
- 3) 応募申込書 (A4 サイズ・1 枚、必要事項: 代表者・共同制作者氏名・日本建築学会会員の方は会員種別・会員番号・所属、代表者連絡先住所・電話番号・E-mail アドレス)
- 4) 電子データ (CD-R 等、提案図面・提案概要書・応募申込書の PDF ファイルデータを記録) 以上を一括して封筒にいれ、厳封の上で提出してください。

### 提出方法

- 1) 郵送・宅配便または持参とします。なお、郵送等で提出される方で、受領通知が必要な方は、受領通知用の返信はがき (郵便はがきに代表者の住所、氏名を記入のこと) を同封し

てください。

- 2) 応募作品は 1 案ごとに別々に提出してください。
- 3) 応募締切: 2016 年 10 月 28 日 (金) 17 時 持参の場合は平日 10 時~17 時に受け付けます。(土・日曜、祝日は受け付けません。) 郵送等の場合は締切日 (10 月 28 日 (金) 17 時) 必着とします。
- 4) 提出先: 下記の問い合わせ・作品提出先へ提出してください。

### 審査方法及び発表

- 1) 応募案の中から 8 作品前後を第二次審査へ進出するノミネート作品として決定します。
- 2) 第二次審査 (公開)  
ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、同日審査を行い、各賞を決定して発表します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。また、PC プロジェクターは会場にご用意しますが、コンピュータなどは各自でご用意ください。  
日時: 2016 年 11 月 16 日 (水)  
会場: はにぼんプラザ 3 階 IT 活動室  
プログラム (予定):  
13 時~ ノミネート者によるプレゼンテーション (説明時間 5 分、質疑時間 10 分)  
15 時~ 審査・審査結果発表

### 3) 入賞者発表

- ・第一次審査の結果は 11 月 4 日 (金) までに日本建築学会関東支部ホームページに公表し、第二次審査に進出するノミネート者には個別に代表者へ通知します。
  - ・第二次審査の結果は、第二次審査終了後に会場にて発表します。
  - ・入賞作品、審査講評は日本建築学会関東支部ホームページに公表します。
- 4) 表彰式及び優秀作品公開プレゼンテーション  
・日時: 2016 年 11 月 27 日 (日) 13 時~  
・会場: はにぼんプラザ 1 階 多目的ホール
  - 5) 入賞作品展示会  
・建築会館ギャラリー  
2016 年 12 月 9 日 (金) ~15 日 (木)  
・本庄市役所 市民ホール  
2016 年 12 月 22 日 (木) ~2017 年 1 月 13 日 (金)

### 審査委員会

審査委員長: 後藤春彦 (早稲田大学教授)

審査委員: 市川均 (アーキネットデザ

イン主宰)

審査委員：斎尾直子（東京工業大学准教授）  
審査委員：時田芳文（日本建築学会関東支部  
埼玉支所長、時田工務  
店代表取締役社長）  
審査委員：藤村龍至（東京芸術大学准教授、  
RFA 主宰）

（五十音順）

## 賞

最優秀賞 1 点（賞状、副賞 20 万円）  
優秀賞 3 点（賞状、副賞 5 万円）  
佳作 4 点（賞状、記念品）

なお、入賞作品の提案につきましては、今後の本  
庄市のまちづくりの参考とさせていただきますが、実  
現化については未定です。

## 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属しま  
す。ただし主催者及び共催者が、この事業の主旨  
に即して入賞作品を日本建築学会誌またはホーム  
ページに掲載、図書の出版、展示等の公表のため  
に用いる場合は、入賞者は無償でその使用を認め  
ることとします。また、主催者及び共催者が『提  
案図面』および『提案概要書』の全体あるいは部  
分を活用することについて承諾することを前提と  
します。

## 現地調査に当たり厳重注意事項

- ・許可無く敷地や建物に立ち入らないこと。
- ・写真を撮影する場合は、財産権、著作権、肖像  
権等に十分配慮すること。

## その他

- ・応募作品および関係書類は返却しませんので、  
作品の控えやデータは必ず保存してください。
- ・審査に関する質疑は受け付けません。
- ・応募規定に違反した場合は授賞を取り消すこ  
とがあります。
- ・関連する現地見学会を 9 月 2 日（金）に実施し  
ます。詳細は追って [日本建築学会関東支部ホーム  
ページ](#)でご案内します。
- ・その他詳細は日本建築学会関東支部ホームペ  
ージに掲載します。

## 問い合わせ・作品提出先

日本建築学会関東支部「提案競技」係  
〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20  
電 話：03-3456-2050  
E-mail:kanto@aij.or.jp  
<http://kanto.aij.or.jp/>

## ②写真コンクールの部

### 課題

「未来にのこしたい街の風景」

本庄市には、歴史資源を活かした街並み、豊か  
な自然やゆったりとした田園風景など、様々な街  
並みが形成されており、その特性を活かしたまち  
づくりを行っています。このような本庄市の街並  
みで、あなたが思う「未来にのこしたい街の風景」  
で、本庄市の魅力が伝わる写真を募集します。

### 対象地

本庄市内とします。

### 作品提出

- ・未発表作品であること。
- ・四つ切もしくは A4 サイズにプリント（プリン  
ターでの出力も可）とします。
- ・原版に著しい加工を施した作品、デジタルデー  
タを画像ソフトにて色等の修正や追加を行った  
作品は不可とします。トリミングは可とします。
- ・撮影の技巧は問いません。コンクールの趣旨に  
あった作品を応募してください。
- ・応募は一人 1 点とします。

### 応募資格

本庄市内在住・在勤・在学の方のほか、本庄市を  
訪れた方も含めてどなたでも。  
応募登録は不要です。

### 提出方法

- 1) 下記の問い合わせ・作品提出先へ提出してくだ  
さい。郵送・宅配便・持参も受け付けます。
- 2) 持参の場合は平日 10 時～17 時に受け付けます。  
（土・日曜、祝日は受け付けません。）
- 3) 以下の事項を作品裏面右下に記入してください。  
「作品の題名と撮影場所」、住所、氏名、電話番号、  
E-mail アドレス

### 全体スケジュール

応募作品受付：2016 年 8 月 1 日（月）～~~9 月 23~~  
~~日（金）~~→10 月 21 日（金）（必着）

入賞者発表：10 月下旬

入賞者には直接通知するとともに本庄市ホームペ  
ージなどで公表します。

表彰式：2016 年 11 月 27 日（日）13 時～

会場：はにぼんプラザ 1 階 多目的ホール

入賞作品展示会

- ・ 建築会館ギャラリー

2016 年 12 月 6 日（火）～13 日（火）

- ・ 本庄市役所 市民ホール

2016 年 12 月 22 日（木）～2017 年 1 月 13  
日（金）

## 審査

本庄駅北口まちづくり会議委員

## 賞

市長賞 1点(賞状、副賞1万円分の図書カード)  
優秀賞 2点(賞状、副賞5千円分の図書カード)  
はにぼん賞 5点(賞状、副賞2千円分の図書カード)  
コンクールの趣旨にもとづいて、厳正な審査により入賞作品を選定します。

## 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。主催者及び共催者は、作品の公表などをする権利を有するものとします。

この事業の主旨に即して、主催者及び共催者が入賞作品を市刊行物やプロジェクト成果報告書等及び日本建築学会誌、または日本建築学会関東支部及び共催者のホームページに掲載、図書の出版、展示、広報活動等の公表のために用いる場合は、その許諾を確認することなく入賞者は無償でその使用を認めることとします。

## 作品の返却

応募作品は返却可とします。

ただし、入賞作品は展示などの使用が終わるまでは主催者、共催者が保管します。返却を希望される場合は、2017年3月1日(火)以降に「本庄市市街地整備課」まで応募者が受け取りに来てください。なお、2017年5月31日(火)以降は処分します。

## その他

入賞作品についてはネガまたは画像のデジタルデータの提出を求める場合があります。

作品の発表あるいは展示等において、その作品に使用された人物からの肖像権、著作権侵害などの申し出があった場合の責任はすべて応募者に帰属するものとします。

応募作品は応募される本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限りします。

審査に当たっての質疑は受け付けません。

応募規定に違反した場合は授賞を取り消すことがあります。

## 問い合わせ・作品提出先

本庄市役所都市整備部 市街地整備課  
〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3-5-3  
電話：0495-25-1138(直通)

## ③絵画コンクールの部

### 課題

「ぼくたち・わたしたちの未来の駅やまち」

将来を担うみなさんが思い描く「未来の本庄駅、児玉駅のまわりは、こうなってほしい」、「こういうまちに住んでみたい」といった、こどもたちの自由な発想をまちづくりについて考える機会として、絵画コンクールを実施します。

なお、審査は本庄駅の部、児玉駅の部の2部でそれぞれ行います。

### 対象地

「本庄駅周辺」、「児玉駅周辺」を対象とします。

### 作品提出

- ・八つ切サイズの大きさの画用紙に、絵を描いてください。
- ・使用する画材(クレヨン・クレパス、水彩絵の具など)、縦・横は自由です。パソコンでの制作は不可とします。
- ・描いた面に学校やあなたの名前を書かないでください。

### 応募資格

本庄市内(公立・市立)の小学校(12校)・中学校(6校)に就学している児童、生徒。

応募登録は不要です。

### 提出方法

学校毎(出品一覧表を添えて下さい)に作品を集めて下記の問い合わせ・作品提出先へお送りください。下記の問い合わせ・作品提出先へ提出してください。郵送・宅配便・持参も受け付けます。

持参の場合は平日10時～17時に受け付けます。(土・日曜、祝日は受け付けません。)

以下の事項を作品裏面右下に記入してください。氏名、学校名、学年、組、「絵の題名と場所」

### 全体スケジュール

応募作品受付：2016年8月1日(月)～9月23日(金)(必着)

入賞者発表：2016年10月下旬

入賞者には直接通知するとともに本庄市ホームページなどで公表します。

表彰式：2016年11月27日(日)13時～

会場：はにぼんプラザ1階 多目的ホール

入賞作品展示会

- ・ 建築会館ギャラリー

2016年12月6日(火)～13日(火)

- ・ 本庄市役所 市民ホール

2016年12月22日(木)～2017年1月13日(金)

## 審査

本庄市教育委員会

## 賞

市長賞 各部 1 点（賞状、副賞 5 千円分の図書カード）

優秀賞 各部 2 点（賞状、副賞 3 千円分の図書カード）

はにぼん賞 各部 5 点（賞状、副賞 1 千円分の図書カード）

参加賞 応募者全員

## 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。主催者及び共催者は、作品の公表などをする権利を有するものとします。

この事業の主旨に即して、主催者及び共催者が応募作品を市刊行物やプロジェクト成果報告書等及び日本建築学会誌、または日本建築学会関東支部及び共催者のホームページに掲載、図書の出版、展示、広報活動等の公表のために用いる場合は、その許諾を確認することなく応募者は無償でその使用を認めることとします。

## 作品の返却

応募作品は原則返却いたしません。

入選作品のみ展示会終了後、本庄市内（公立・私立）の小、中学校に通う児童、生徒には学校を通じて返却します。他の児童には、自宅へ送付します。

## 問い合わせ・作品提出先

本庄市役所都市整備部 市街地整備課

〒367-8501 埼玉県本庄市本庄 3-5-3

電話：0495-25-1138（直通）